

地教1年 働くこと、仕事を学ぶ
～ 北海道中小企業家同友会とかち支部企業展示会にて ～

2016年2月12日(金)、とかちプラザで北海道中小企業家同友会とかち支部設立40周年記念事業が開催されました。

同友会は「良い会社を作ろう」「よい経営者になろう」「よい経営環境を作ろう」と取り組んでいる経営者集団です。地域の中小企業のがんばりを通じて、地域社会の発展に寄与すべくさまざまな取り組みをしています。

当日のイベント内容は、企業展示会、講演会、キャリアクエスト2016、高校生向けセミナーでした。

本学地域教養学科1年生も「入門ゼミナールⅡ」の授業の一環でスタッフとして参加しました。

目的は、まず、イベント運営に関わり、そこから働き方、臨機応変な対応力を考えること。もうひとつは、参加される多くの企業の方と触れ合うことで、働くことや企業のことなど、さまざまな気づきと学びを得る、ということでした。

前日(11日)準備から後片付けまで、役割分担して参加しました。

みんな一生懸命、自分に与えられた役割を果たし、同友会の皆様からは「大谷短大の学生がいなかったらと思うとぞっとした」というお褒めの言葉をいただきました。

学生はただ一生懸命やったではなく、うまくいったこと、失敗したこと、社会人の方の動き方から学ぶこと、納得できたこと、反省すべきこと、見習うこと、疑問に思うことなど、いろいろなことを感じたはずです。学生がこの経験をしっかりと今後に活かしてくれれば、いただいた機会に対する最大の恩返しとなります。



配布用資料の袋詰め作業



講演会の受付風景

講演会は「北海道における食のコンテンツのビジネスマッチングとは」というテーマで、大泉洋さんら TEAM NACS が所属するクリエイティブオフィスキューの鈴井亜由美氏のお話でした。

そして、就職を考えている高校生向けのキャリアクエスト2016、それを踏まえた2年生向けセミナー

ー「働くことって?」、1年生向けセミナー「気づき～わくわく社会人になるために『今』やっておくべきこと」が開催されました。参加高校は、池田、帯広南商業、帯広三条、帯広農業の4校から約100が参加し、企業ブース訪問ではクエストという名のとおり企業・職業「探求」をすべく真剣に質問をし、また、グループディスカッションでもそれぞれに感じたことを話し合っていました。きっと、今後の進学・就職も含めた進路・キャリアを考える上でよい経験ができたのではないかと思います。



↑ 短大のブースを訪れた高校生に居合わせた学生が学科の学びや生活を説明しています。キャリアクエスト2016スタート。企業ブースを訪問する高校生と学生



高校生と一緒に説明を聞く学生。